

結 果 の 考 察

1 発育状態について

愛媛県の子どもの発育状態を、全国平均や平成 26 年度の県平均の数値と比較してみると次のようになります。

(1) 身 長

平成 27 年度の愛媛県男子の身長は、全国平均と比べると、5 歳以上の全ての年齢において、数値が下回っています。また、平成 26 年度の県平均と比べると、8 歳、9 歳、11～13 歳、15 歳、17 歳の各年齢で数値が同じか上回っていますが、それ以外の年齢では、数値が下回っています。

平成 27 年度の愛媛県女子の身長は、全国平均と比べると、5 歳以上の全ての年齢において、数値が下回っています。また、平成 26 年度の県平均と比べると、7 歳、8 歳、11 歳、13 歳、15 歳の各年齢で数値が同じか上回っていますが、それ以外の年齢では、数値が下回っています。

(2) 体 重

平成 27 年度の愛媛県男子の体重は、全国平均と比べると、6 歳以上の全ての年齢において、数値が下回っています。また、平成 26 年度の県平均と比べると、6 歳、8～10 歳、12 歳、13 歳、16 歳の各年齢で数値が同じか上回っていますが、それ以外の年齢では、数値が下回っています。

平成 27 年度の愛媛県女子の体重は、全国平均と比べると、13～15 歳の各年齢で数値が同じか上回っていますが、それ以外の年齢では、数値が下回っています。また、平成 26 年度の県平均と比べると、6～8 歳、10 歳、11 歳、13 歳、15 歳、16 歳の各年齢で数値が同じか上回っていますが、それ以外の年齢では、数値が下回っています。

(3) 座 高

平成 27 年度の愛媛県男子の座高は、全国平均と比べると、5 歳以上の全ての年齢において、数値が下回っています。平成 26 年度の県平均と比べると、5 歳～13 歳、16 歳、17 歳の年齢で、数値が同じか上回っていますがそれ以外の各年齢では、数値が下回っています。

平成 27 年度の愛媛県女子の座高は、全国平均と比べると、5 歳以上の全ての年齢において、数値が下回っています。また、平成 26 年度の県平均と比べると、6～8 歳、10 歳、11 歳、13～17 歳の年齢では数値が同じか上回っていますがそれ以外の各年齢では、数値が下回っています。

以上のように若干の変化は見られますが、全国と比較してみますと、身長、体重、座高ともに、全国平均値及び前年度の県平均値との差は僅かです。

身体の発育と運動は非常に密接な関係があることから、今後は、学

校生活や日常生活の中で、積極的に体育活動に取り組むように促すとともに、望ましい生活習慣を身に付けるように指導していくことが大切です。

2 疾病状況について

疾病状況について、今年度の疾病異常被患率を全国平均と比較した場合と愛媛県の過去9年間の状況を考察すると次のとおりです。

(1) せき柱・胸郭異常

せき柱・胸郭異常については、全国平均値と比べると、幼稚園の男子以外の年齢層において数値が下回っています。

県平均値の推移では、中学校の女子以外の年齢層において概ね横ばい状態です。

(2) 視力

裸眼視力については、全ての年齢層において1.0未満の者の割合が全国平均値を上回っています。

県平均値の推移では、幼稚園において増加傾向にありますが、中学校と高等学校においては概ね横ばい状態です。

(3) 歯・口の健康

う歯の未処置歯のある者の割合については、幼稚園と小学校は男女とも全国平均値を上回っていますが、中学校と高等学校は全国平均値を下回っています。

県平均値の推移では、全ての年齢層において減少傾向にあります。

(4) 心臓の疾病・異常

心臓の疾病・異常については、幼稚園の男子、中学校と高等学校の女子において全国平均値を下回っています。

県平均値の推移では、小学校と高等学校の男子については、概ね横ばい状態です。

(5) 腎臓疾患

腎臓疾患については、高等学校の男子以外は全国平均値を下回っています。

県平均値の推移では、全ての年齢層において概ね横ばい状態です。

健康診断や、日常の健康観察の結果を踏まえ、医療機関での精密検査や、治療を勧め、必要な事後措置を行うことは重要です。

保護者や関係機関等と連携を図りながら、今後も健康相談や保健指導を通して、一人ひとりの健康状態の把握や管理に努めることが望まれます。